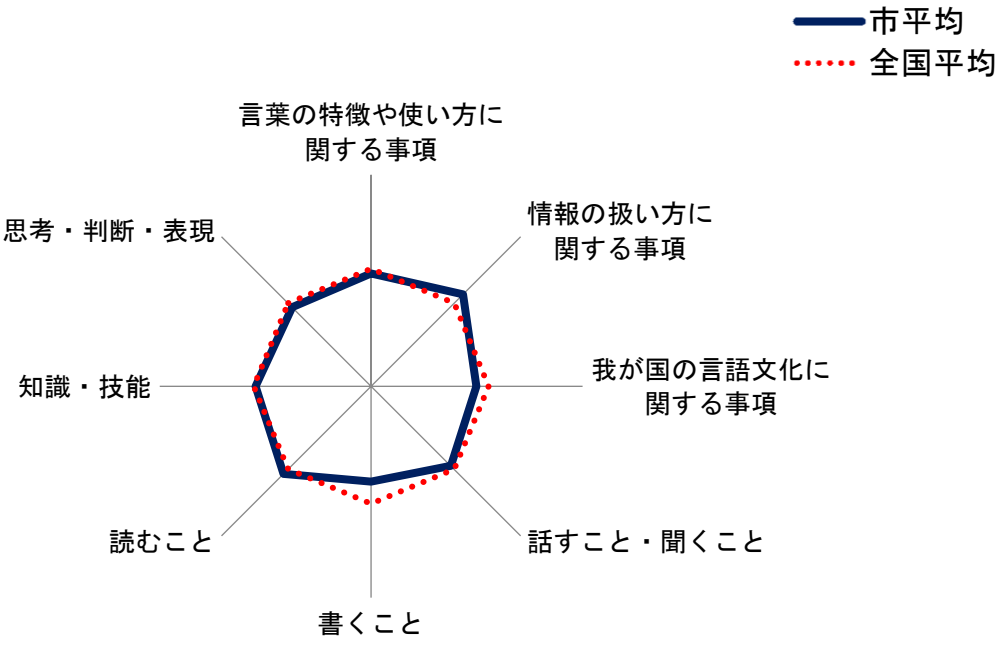
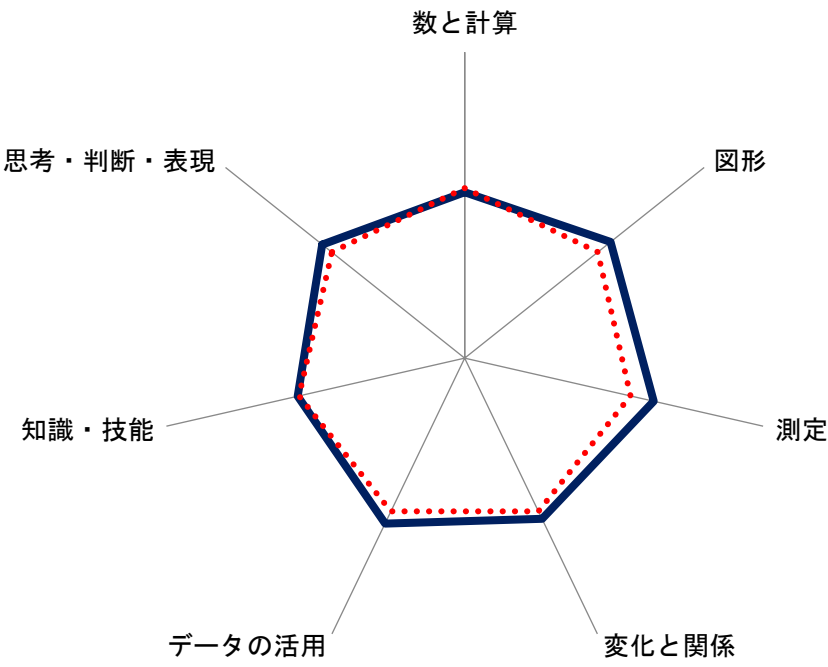


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

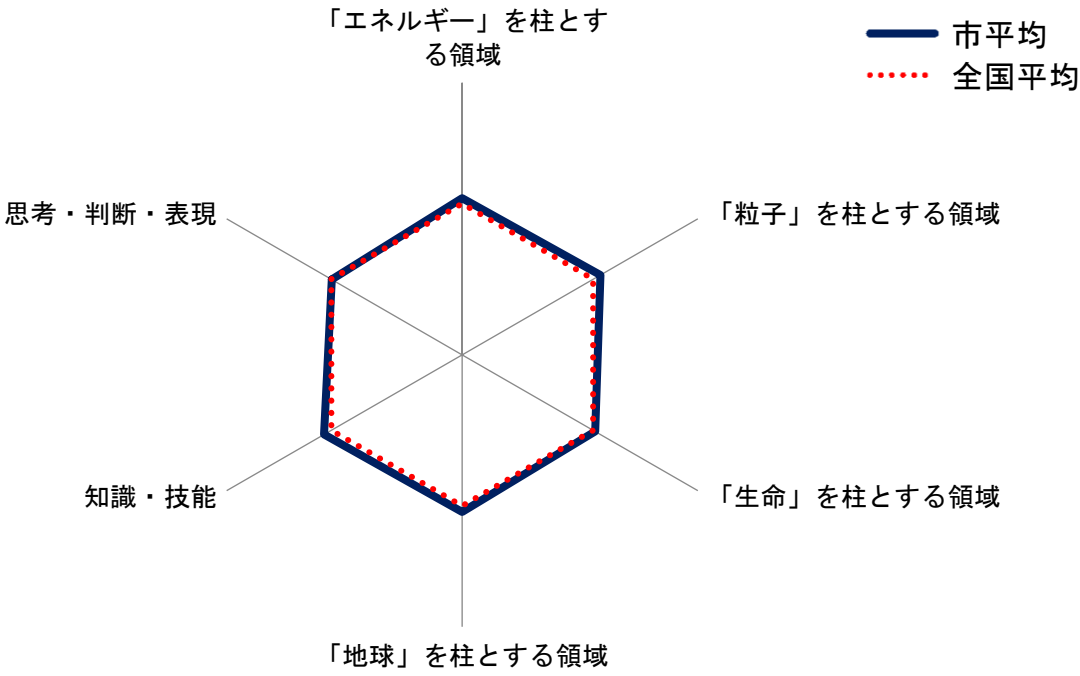


【算数】

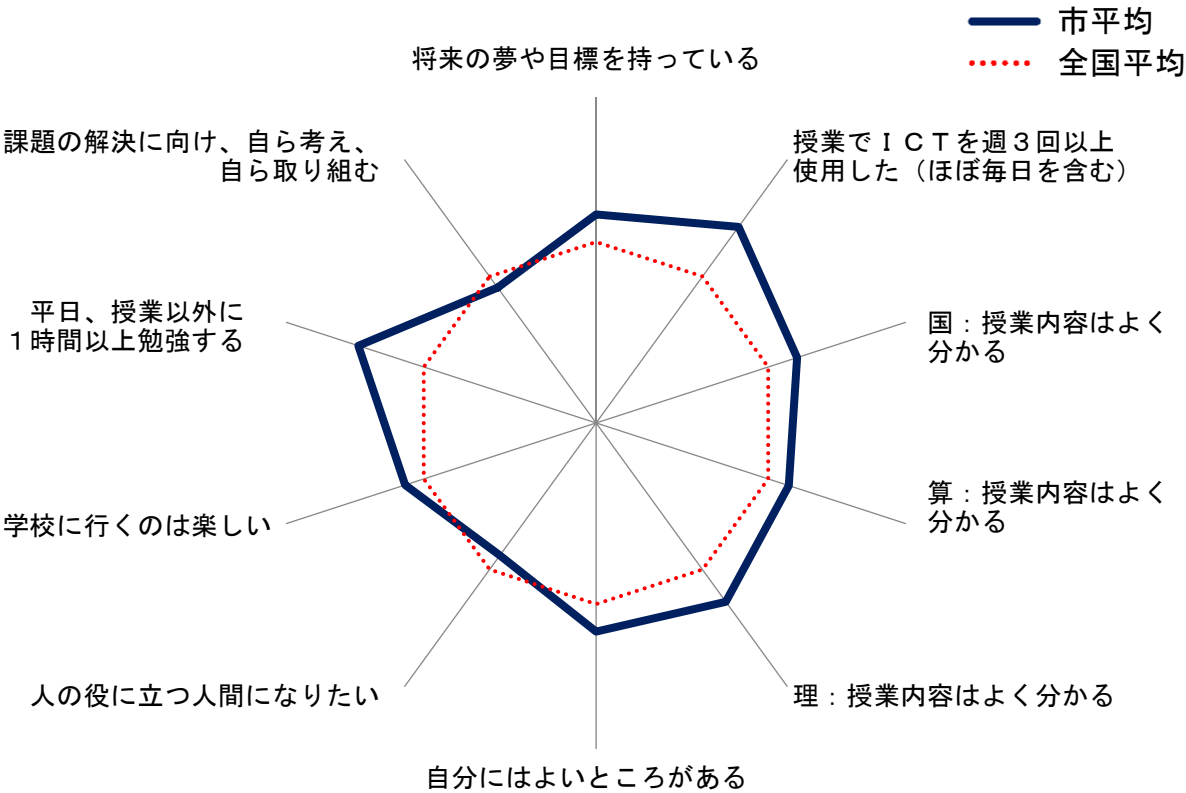


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数、理科のほとんどの項目が、全国平均とほぼ同じかやや上回っており、良好な結果である。一方、国語は「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」の項目が、全国平均を下回っており、課題が見られる。今後は、設問ごとの詳細な分析によって課題を明確化し、児童の実態に応じた個別最適な学びや、根拠を明確にして書く活動を取り入れた授業改善を推進することで、課題が見られた国語を中心に更なる学力向上を図ることが望まれる。

児童質問調査では、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」、各教科の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく上回っている。また、「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」などの項目が昨年度に引き続き良好な結果となっており、キャリア教育や自己肯定感を高める教育活動が推進されている成果がうかがえる。今後も、学力向上の基盤となる魅力ある学校づくりや授業と家庭学習のつながりを重視した取組を、学校と家庭が連携して継続的に推進していくことが望まれる。